

No.1

日本看護協会 医療・看護安全管理情報

「トロンビン」誤注入事故を防ぐ

繰り返し起きている事故や、結果が重大な事故について、看護職が今すぐにとるべき具体的な防止策を「医療・看護安全管理情報」にまとめてお届けします。目につくところに掲示したり、院内の事故防止対策検討の資料などとして、改めて現場の再点検に生かしていただけると幸いです。

ある病院で、こんな事故が起きました。(新聞報道より)

2000年12月14日(木)の午後5時頃、胃潰瘍で入院中の男性(74歳)に、本来、胃チューブから与薬すべきだった止血剤の「トロンビン」を、看護婦が誤って点滴し、患者の死亡につながった。
准看護婦(46歳)が薬を調合して、男性の病室に行ったところ、看護婦(24歳)が与薬をするためのチューブを男性の鼻に固定しようとしていたため、准看護婦は「この薬お願い」とだけ言って薬を渡し、看護婦は点滴するものと勘違いしたという。

誤注入事故を繰り返さないために、以下のことを今一度、点検しましょう。

〔薬剤や機器に関して〕

1. 経口用トロンビンを注入するときは、誤って輸液ラインから接続し血管に注入しないように、「カテーテルチップ型注入器」^{注1}を使用していますか。
2. 経口用トロンビンを注入するときは、注射薬と間違えないよう、可能な限り「経口用分包タイプのトロンビン」^{注2}を使用していますか。
3. やむを得ず、経口用にバイアルタイプのトロンビンを使用する際は、誤って血管内へ注入しないように、バイアルのふたをはずして使用するなどして、「カテーテルチップ型注入器」を使用していますか。
(カテーテルチップ用吸引針を使用する場合は、点滴内へ混注する危険があるため、吸引後すぐに廃棄することを手順に盛り込むこと。)
4. カラー注射器採用の病院で、誤注入事故が起きています。シリンジの色分けだけに頼っては、誤注入事故は防げません。

〔業務の受け渡しに関して〕

5. トロンビンを準備した者が患者に与薬するまで行うことを原則とし、それを守っていますか。
6. やむを得ず、準備した者が与薬まで行えない場合は、与薬を依頼する相手へ“患者名、薬品名、与薬量、与薬方法”など、必要事項を正確に伝達していますか。
7. 与薬を依頼された者は“患者名、薬品名、与薬量、与薬方法”など必要事項を確認し、未確認の事項があれば、準備した者に確認した上で与薬していますか。

〔職員への徹底に関して〕

8. トロンビンの誤注入事故を防ぐ為に、以上のことを職員に周知していますか。

注:事故を起こしにくいデザインの薬剤や機器情報をご紹介します。

注1 カテーテルチップ型注入器

- 主なメーカー/商品名/規格(標準価格)
- テルモ/テルモシリンジカテーテルチップ型/
2.5ml(3,000円/25本)、5ml(3,375円/25本)
10ml(3,750円/25本)、30ml(4,125円/25本)
50ml(3,380円/20本)
 - トップ/トッププラスチックシリンジカテーテル先50ml/
50ml(4,250円/25本)
 - ニプロ/20ml・30ml・50mlカテーテルチップ押し子イエロー/
20ml(6,000円/50本)、30ml(7,000円/50本)
50ml(4,250円/25本)
 - JMS/JMS注入器/
1ml(12,000円/100本)、2.5ml(12,000円/100本)
5ml(13,000円/100本)、10ml(15,000円/100本)
20ml(7,750円/50本)、30ml(8,000円/50本)
50ml(8,250円/50本)、100ml(6,750円/25本)

注2 経口用分包タイプのトロンビン

- 規格・単位/薬価/商品名
- 5,000単位(0.5g1包)/1,194.10円/経口用トロンビン細粒(持田)
 - 5,000単位(0.5g1包)/622.30円/経口用トロンビンDJ(同仁-沢井)
 - 10,000単位(1g1包)/1,795.80円/経口用トロンビン細粒(持田)
 - 10,000単位(1g1包)/934.20円/経口用トロンビンDJ(同仁-沢井)
 - 20,000単位(2g1包)/2,675.90円/経口用トロンビン細粒(持田)

この「医療・看護安全管理情報」は、日本看護協会リスクマネジメント検討委員会で作成して、施設宛てにお送りします。事故防止にはこのほかにも、組織全体のシステム改善や業務の分担の変更など、それぞれの病院の規模や状況によって多くの事を考える必要があります。この「情報」をもとにこれらの点も検討していただければ幸いです。

◆問い合わせ先:日本看護協会専門職業課(TEL:03-3400-8610)